

JIS K 5658 認証取得

建築用耐候性上塗り塗料 クリーンマイルド[®]CRシリーズ

弱溶剤形

上塗り

クリーンマイルドフッソCR〔1級〕

クリーンマイルドシリコンCR〔2級〕

クリーンマイルドウレタンCR〔3級〕

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料

1級 fluoropolymer樹脂 認証取得製品(クリーンマイルドフッソCR)

2級 silicone樹脂 認証取得製品(クリーンマイルドシリコンCR)

3級 polyurethane樹脂 認証取得製品(クリーンマイルドウレタンCR)

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆☆

はじめに

「クリーンマイルドCRシリーズ」は、JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料の認証を取得した製品です。1級・クリーンマイルドフッソCR、2級・クリーンマイルドシリコンCR、3級・クリーンマイルドウレタンCRをラインアップしており、要求に応じて使い分けることが可能です。公共建築工事標準仕様書（建築工事編、18章塗装工事）と、公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、7章塗装改修工事）の耐候性塗料塗り（DP）に該当する製品で、優れた耐候性を発揮します。クリーンマイルドCRシリーズ製品は、独自のセラミック複合技術により、超低汚染性を実現した製品であり、長期に亘り美しい仕上げを維持することができます。

特長

超耐久性 架橋塗膜は、紫外線、湿気など、ポリマー劣化要因に対して優れた抵抗を示し、長期に亘り建物を保護します。

超低汚染性 セラミック複合の特殊技術によるトリプル効果（低帯電性・高い架橋密度・親水性）で、超低汚染性能を発揮します。

防かび・防藻性 特殊設計により、長期に亘りかびや藻類などの微生物汚染を防ぎ、衛生的な環境を維持します。

資産価値の向上 汎用のアクリル樹脂系やポリウレタン樹脂系の塗料に比べて耐久性が高いため、ライフサイクルコストの低減と資産価値の向上につながります。

適用下地

コンクリート、セメントモルタル、
押出成形セメント板

用途

- ・戸建て住宅、マンションの内外装
- ・店舗、事務所、工場、倉庫などの内外装
- ・学校など公共施設の内外装

クリーンマイルドCRシリーズの製品構成

一般名称	製品名	JIS K 5658の 耐候性による等級	荷 姿	標準塗坪	可使時間 (23℃)
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	★クリーンマイルドフッソCR	1級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	83～136㎡／15kgセット 22～36㎡／4kgセット	5時間
弱溶剤形アクリルシリコン樹脂塗料	★クリーンマイルドシリコンCR	2級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	42～60㎡／15kgセット 11～16㎡／4kgセット	5時間
弱溶剤形ウレタン樹脂塗料	★クリーンマイルドウレタンCR	3級	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg石油缶／0.4kg缶	42～60㎡／15kgセット 11～16㎡／4kgセット	5時間

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。
※「クリーンマイルド」は、エスケー化研（株）の登録商標です。

その他製品

製品名	荷 姿	標準塗坪	可使時間
★クリーンマイルドフッソ中塗材	主 剤：13.5kg石油缶／3.6kg缶 硬化剤：1.5kg缶／0.4kg缶	83～125㎡／15kgセット、22～33㎡／4kgセット	5時間(23℃)
ミラクファンドKC-2000	粉 体：20kg袋 混和液：5kgポリ容器	11～12㎡／25kgセット	1.5時間(20℃)
★マイルドシーラー-EPO（クリアー・ホワイト）	主 剤：10.5kg石油缶 硬化剤：3.5kg缶	70～155㎡／14kgセット	5時間(23℃)
水性ソフトサーフSG	16kg石油缶	10～53㎡／缶	—
★塗料用シンナー-A	16ℓ石油缶	—	—

※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

【危険情報と安全対策】

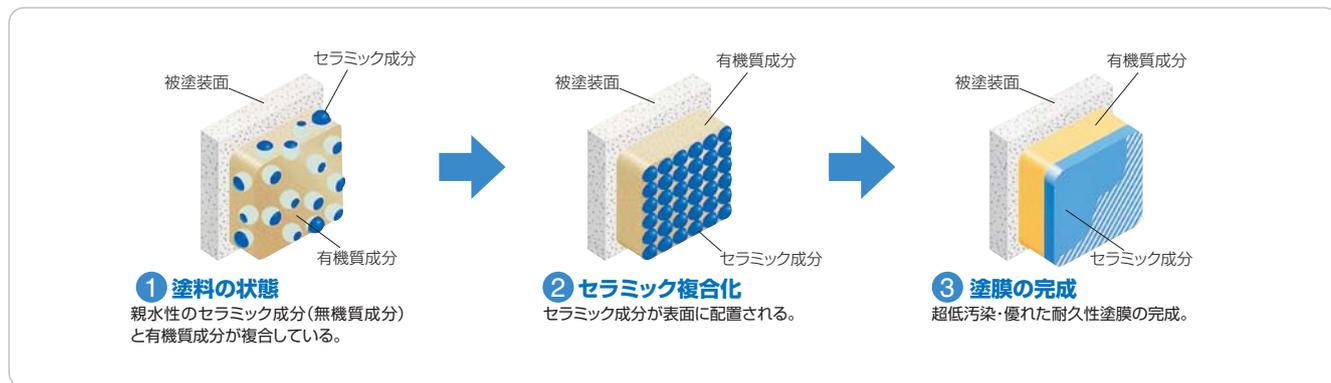
- 製品の取り扱い、それぞれの安全データシート（SDS）に従ってください。特に★印のついている製品は溶剤形の製品であるため、下記の点にご注意ください。
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒の恐れがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。

※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。
詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

【施工後の注意】

本製品には揮発性の化学物質が含まれております。塗装直後の引渡し等において、化学物質過敏症やアレルギー体質の方への安全対策に十分留意してください。

独自のセラミック複合技術



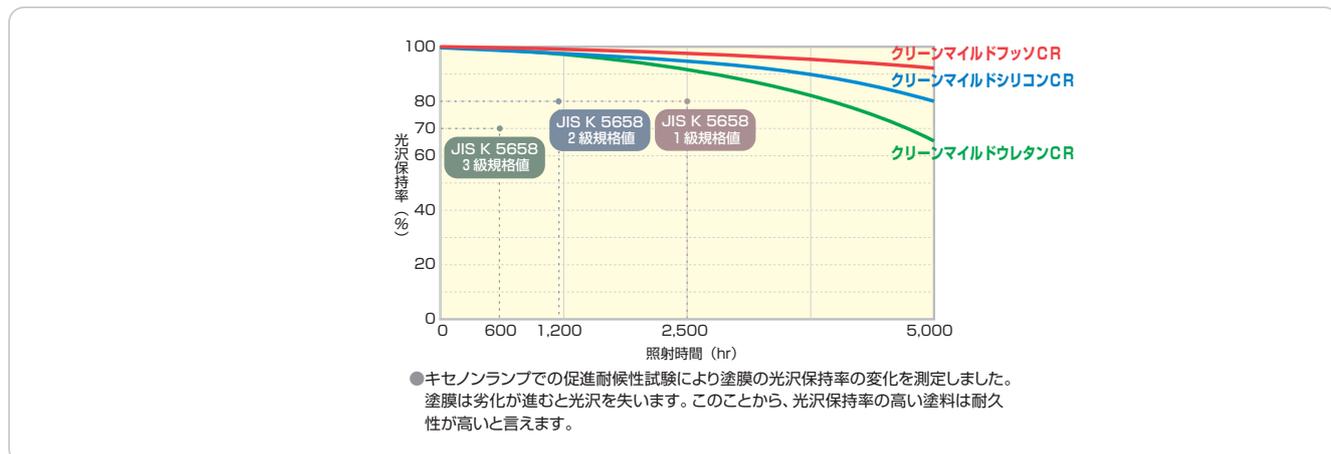
トリプル効果で超低汚染性をいかに発揮



6ヶ月暴露後の表面状態(雨筋汚染試験)



促進耐候性試験(キセノンランプ)



性能試験成績表

JIS K 5658 建築用耐候性上塗り塗料による物性試験

項目	結果			品質
	クリーンマイルドウレタンCR	クリーンマイルドシリコンCR	クリーンマイルドフッソCR	
容器の中の状態	合格	合格	合格	硬い塊がなくて一様な状態。
表面乾燥性	23℃	合格	合格	8時間以内で表面乾燥する。
	5℃	合格	合格	16時間以内で表面乾燥する。
塗膜の外観	合格	合格	合格	正常である。
ポットライフ	合格	合格	合格	5時間
隠ぺい率% (白及び淡彩)	95	96	96	90以上
鏡面光沢度 (60度)	86	87	84	70以上
耐衝撃性	合格	合格	合格	割れ及びはがれが生じない。
付着性 (クロスカット法)	合格	合格	合格	分類1又は分類0である。
重ね塗り適合性	合格	合格	合格	支障がない。
耐アルカリ性	合格	合格	合格	異常がない。
耐酸性	合格	合格	合格	異常がない。
耐湿潤冷熱繰返し性	合格	合格	合格	湿潤冷熱繰返しに耐える。
促進耐候性	600hr 3級合格	1,200hr 2級合格	2,500hr 1級合格	規定照射時間後、塗膜に割れ、はがれ及び膨れがなく、試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、さらに、白亜化の等級が1又は0である。 1級、2級：規定照射時間後の光沢保持率が80%以上である。 3級：規定照射時間後の光沢保持率が70%以上である。
屋外暴露耐候性	3級 合格	2級 合格	1級 合格	1級：光沢保持率が60%以上で試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、白亜化の等級が1又は0である。 2級：光沢保持率が40%以上で試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、白亜化の等級が2、1又は0である。 3級：光沢保持率が30%以上で試料の色差が見本品の色差と比較して大きくなく、白亜化の等級が3、2、1又は0である。

標準施工仕様 (公共建築工事標準仕様書 コンクリート面耐候性塗料塗り)

新築

コンクリート面

塗装仕様 / 共通工程 (コンクリート面 / 新築)

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
1	乾燥	素地面を十分に乾燥させる。(含水率 10%以下)					
2	汚れ、付着物除去	素地を傷つけないように除去する。					
3	下地調整塗り	ミラクファンド KC - 2000 粉体	2.0	2	6以上	16以上	-
	ミラクファンド KC - 2000 混和液	25					
4	吸込み止め	清 水	-	1~2	3以上	16以上 7日以内	-
		マイルドシーラー EPO (クリヤー・ホワイト) 主剤	100				
		マイルドシーラー EPO 硬化剤	33.3				
5	パテしごき	SK エポキシパテを用いて全面をしごき取り平滑にする。					
6	研磨紙すり	乾燥後、研磨紙 P120 ~ P220 で全面を平らに研磨する。					
7	下塗り	マイルドシーラー EPO (クリヤー・ホワイト) 主剤	100	1	-	16以上 7日以内	-
		マイルドシーラー EPO 硬化剤	33.3				

塗装仕様 / クリーンマイルドウレタン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
8	中塗り	クリーンマイルドウレタン CR 主剤	100	1	-	16以上 7日以内	-
		クリーンマイルドウレタン CR 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				
9	上塗り	クリーンマイルドウレタン CR 主剤	100	1	-	-	72 以上
		クリーンマイルドウレタン CR 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				

塗装仕様 / クリーンマイルドシリコン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
8	中塗り	クリーンマイルドシリコン CR 主剤	100	1	-	16以上 7日以内	-
		クリーンマイルドシリコン CR 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				
9	上塗り	クリーンマイルドシリコン CR 主剤	100	1	-	-	72 以上
		クリーンマイルドシリコン CR 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				

塗装仕様 / クリーンマイルドフッソ CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
8	中塗り	クリーンマイルドフッソ中塗材 主剤	100	1	-	16以上 7日以内	-
		クリーンマイルドフッソ中塗材 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				
9	上塗り	クリーンマイルドフッソ CR 主剤	100	1	-	-	72 以上
		クリーンマイルドフッソ CR 硬化剤	11.1				
		塗料用シンナー-A	0 ~ 20				

●工程 1 ~ 6 は素地ごしらえ工程です。

●社内規格に基づき、★マイルドシーラー EPO(クリヤー・ホワイト)は JASS 18 M-201、★クリーンマイルドフッソ中塗材は JASS 18 M-405、★クリーンマイルドシリコン CR は JASS 18 M-404、★クリーンマイルドウレタン CR は JASS 18 M-403 相当品と判断しています。

●上記塗付け量は公共建築工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため実際に使用する所要量は、被塗物の形状や塗装方法等によってロス率が異なるため変わります。

●★塗料用シンナー-A での希釈率は主剤 100 に対して、スプレー塗り時で「10 ~ 20」、刷毛・ローラー塗り時で「0 ~ 10」となります。

●所要量の目安は、下地調整塗りミラクファンド KC-2000 で 2.0 ~ 2.1kg/m²、吸込み止め★マイルドシーラー EPO (クリヤー・ホワイト) で 0.17 ~ 0.20kg/m²、下塗り★マイルドシーラー EPO (クリヤー・ホワイト) で 0.09 ~ 0.10kg/m²、★クリーンマイルドウレタン CR・★クリーンマイルドシリコン CR で各々 0.26 ~ 0.30kg/m²、★クリーンマイルドフッソ中塗材で 0.15 ~ 0.18kg/m²、★クリーンマイルドフッソ CR で 0.11 ~ 0.13kg/m² となります。

※公共建築工事標準仕様書の押出成形セメント板面の塗装仕様は、素地ごしらえにて下地調整塗りの工程を省略します。

※公共建築工事標準仕様書に基づき、塗付け量表記しています。

※間隔時間は建築工事監理指針に基づく数値です。

標準施工仕様 (公共建築改修工事標準仕様書 コンクリート面耐候性塗料塗り)

改修

コンクリート面

塗装仕様／共通工程 (コンクリート面／改修)

(23℃)

工程	種別 1種 2種	材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
						工程内	工程間	最終養生
1	下地調整	○ ー 下地調整の表によるRB種						
		ー ○ 下地調整の表によるRC種						
2	下塗り	○ ー マイルドシーラー-EPO (クリアー・ホワイト) 主剤	100	0.08	1	ー	16以上 7日以内	ー
		マイルドシーラー-EPO 硬化剤	33.3					

塗装仕様／クリーンマイルドウレタン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
3	クリーンマイルドウレタン CR 主剤	100	0.14	1	ー	16以上 7日以内	ー
	クリーンマイルドウレタン CR 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				
4	クリーンマイルドウレタン CR 主剤	100	0.10	1	ー	ー	72以上
	クリーンマイルドウレタン CR 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				

塗装仕様／クリーンマイルドシリコン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
3	クリーンマイルドシリコン CR 主剤	100	0.14	1	ー	16以上 7日以内	ー
	クリーンマイルドシリコン CR 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				
4	クリーンマイルドシリコン CR 主剤	100	0.10	1	ー	ー	72以上
	クリーンマイルドシリコン CR 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				

塗装仕様／クリーンマイルドフッソ CR 仕上げ

(23℃)

工程	材 料	調 合 (重量比)	塗付け量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)		
					工程内	工程間	最終養生
3	クリーンマイルドフッソ中塗材 主剤	100	0.14	1	ー	16以上 7日以内	ー
	クリーンマイルドフッソ中塗材 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				
4	クリーンマイルドフッソ CR 主剤	100	0.10	1	ー	ー	72以上
	クリーンマイルドフッソ CR 硬化剤	11.1					
	塗料用シンナー-A	0～20	ー				

●社内規格に基づき、★マイルドシーラー-EPO(クリアー・ホワイト)はJASS 18 M-201、★クリーンマイルドフッソ中塗材はJASS 18 M-405、★クリーンマイルドシリコンCRはJASS 18 M-404、★クリーンマイルドウレタンCRはJASS 18 M-403相当品と判断しています。

●上記塗付け量は公共建築改修工事標準仕様書に掲載されている数値です。そのため実際に使用する所要量は、被塗物の形状や塗装方法等によってロス率が異なるため変わります。

●★塗料用シンナー-Aでの希釈率は主剤100に対して、スプレー塗り時で「10～20」、刷毛・ローラー塗り時で「0～10」となります。

●所要量の目安は、下塗り★マイルドシーラー-EPO(クリアー・ホワイト)で0.09～0.10kg/m²、★クリーンマイルドウレタンCR・★クリーンマイルドシリコンCRで各々0.26～0.30kg/m²、★クリーンマイルドフッソ中塗材で0.15～0.18kg/m²、★クリーンマイルドフッソCRで0.11～0.13kg/m²となります。

※公共建築改修工事標準仕様書の押出成形セメント板面の塗装仕様については、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

※公共建築改修工事標準仕様書に基づき、塗付け量表記しています。

※間隔時間は建築改修工事監理指針に基づく数値です。

標準施工仕様 (一般改修仕様)

<改修・微弾性サーフェーサー>

塗装仕様 / 共通工程

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
下地調整	・高圧水洗 (5 ~ 15MPa) にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。 ・付着物は完全に除去し、傷、不陸、目違いなどは補修調整してください。							—
下塗り	水性ソフトサーフ SG	100	0.30 ~ 1.5	1 ~ 2	3 以上	16 以上	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン
	清 水	2 ~ 8						

塗装仕様 / クリーンマイルドウレタン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
上塗り	クリーンマイルドウレタン CR 主剤	100	0.25 ~ 0.35	2	3 以上 7 日以内	—	24 以上	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン
	クリーンマイルドウレタン CR 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナー A	0 ~ 20	—					

塗装仕様 / クリーンマイルドシリコン CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
上塗り	クリーンマイルドシリコン CR 主剤	100	0.25 ~ 0.35	2	3 以上 7 日以内	—	24 以上	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン
	クリーンマイルドシリコン CR 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナー A	0 ~ 20	—					

塗装仕様 / クリーンマイルドフッソ CR 仕上げ

(23℃)

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗回数	間隔時間 (hr)			備考
					工程内	工程間	最終養生	
中塗り	クリーンマイルドフッソ中塗材 主剤	100	0.12 ~ 0.17	1	—	3 以上 7 日以内	—	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン
	クリーンマイルドフッソ中塗材 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナー A	0 ~ 20	—					
上塗り	クリーンマイルドフッソ CR 主剤	100	0.13 ~ 0.18	1	—	—	24 以上	<ul style="list-style-type: none"> ●ローラー ●刷毛 ●エアレススプレーガン
	クリーンマイルドフッソ CR 硬化剤	11.1						
	塗料用シンナー A	0 ~ 20	—					

※一般改修仕様のため、所要量表記しています。

【施工上の注意事項】

- ALC/パネル、多孔質下地、粗面、その他下地に問題がある場合には、「カケンファイラー」「ミラクフアンドKC-1000」などにて下地調整を行ってください。
- 下地はペンキ下地と同程度に平滑にしておいてください。
- ★マイルドシーラー-EPO(クリヤー・ホワイト)は、吸い込みの著しい下地の場合、2度塗りをしてください。
- 使用した塗装器具はラッカーシンナーなどで洗浄してください。
- 旧塗膜の状態や種類によって、付着力が得られなかったり、溶解することがあります。事前に試験塗りをを行い、付着力や溶解性の確認を行ってください。
- 中塗材が塗装されていないと剥離や性能不良の原因となりますので、中塗材の塗り残しがないよう塗装してください。
- 中塗材、上塗材の希釈率は、試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率にて使用してください。なお、希釈率は施工時の気温により変化することがあります。ご了承ください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など彩度の高い色目を塗装する場合は、隠ぺい性を高めるため、予め隠ぺい性の良い共色を塗装してください。
- 異なる色目で塗り重ねる場合、2回目の上塗りが1回目の上塗りを溶かし、ラインや帯がにじむ場合がありますのでご注意ください。
- 濃彩色の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがありますのでそのような部位への塗装はなるべく避けてください。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存のパターンに合うように既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 防かび、防藻性は繁殖の抑制の効果を示すものです。施工部位の構造や形状、環境条件などにより、防かび、防藻性が十分に発揮されない場合があります。
- かび、藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取ってください。
- 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
- 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
- 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
- 補修塗りが必要な場合がありますので、補修用で使用塗料の控えを必ずとっておき、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装をしてください。
- 補修塗りの際、仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じる場合がありますので、部分的に仕上がり性を確認した上で希釈量等を決定してください。
- 刷毛で補修塗りを行う際、スプレー塗りやローラー塗りとは仕上がり肌の違いにより、色目に若干の差を生じることがあります。
- シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により、塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは、最寄りの各営業所へお問い合わせください。
- 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
- 陶磁器・タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異状を生じることがありますので、これを防止するため、予め塗装面の養生を行ってください。
- ゴムやプラスチック等、可塑剤を含む部位に直接接触すると軟化や剥離を生じることがありますので、そのような場所への塗装は避けてください。また、これらの部材に塗膜が直接接触しないようご注意ください。
- ベンチやジャングルジムなどの遊具への塗装は避けてください。また、アルコールや油脂分(人の手など)が付着すると塗膜が軟化し、色移りすることがありますので、ご注意ください。
- 塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
- 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の膨れ、剥がれ、白化の発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水を除去してください。
- 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上にしてください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
- 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌し、開栓後は速やかに一度に使い切ってください。また材料を保管する場合は、無希釈の材料をしっかりと密栓してから直射日光を避けた冷暗所にて保管し、できるだけ早めに使い切ってください。
- 性能に支障をきたす可能性がありますので、当社指定以外の材料を混ぜないでください。
- 公共建築工事標準仕様[新築・改修]の詳細につきましては、最寄りの各営業所へお問い合わせください。

施工上の注意：超低汚染機能の発揮条件

- ★クリーンマイルドCRシリーズは、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーなどで十分に攪拌混合(2分以上)してご使用ください。主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また材料調合後は、缶に表示されている可使用時間内に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けますので、ご注意ください。
- 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が硬化するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間水分がかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は硬化後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
- 施工当日に降雨、降雪、結露が予想される場合は、施工を中止してください。また、気象の急変などにより、施工中、施工後に降雨が生じた場合はシート養生などを行い、塗装面に直接雨がつかないように、対策を講じてください。
- 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に傾斜壁の下端部、笠木などの水切のない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、汚れが溜まりやすい目地の下部、雨がつかからない部位などは注意が必要です。
- 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。各シーリング材は可塑剤(油分)を含まないノンブリードシーリングをご使用ください。
- 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能を発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しができないよう、注意してください。また、タッチアップに使用する上塗材の主剤、硬化剤は予め良く振り、沈降分離していないものを必ず計量器を用いて計量し、電動ミキサーなどで十分に攪拌(2分以上)したものを使用し、製品容器に記載の可使用時間以内に使い切るようにしてください。
- その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。



エスケー化研株式会社

URL <https://www.sk-kaken.co.jp>



本社 大阪府茨木市中穂橋3-5-25 ☎072-621-7733

東京支社 東京都新宿区高田馬場1-31-18 ☎03-3204-6601

国際事業本部 ☎072-621-7727

札幌支店 ☎011-784-4000 千葉支店 ☎043-304-0411

名古屋支店 ☎052-561-7712

神戸支店 ☎078-671-0451

福岡支店 ☎092-629-3427

仙台支店 ☎022-259-2431 埼玉支店 ☎048-686-2391

京都支店 ☎075-646-3967

広島支店 ☎082-943-5043

大阪支店 ☎072-621-7721

高松支店 ☎087-865-5411

東京支店 ☎03-3204-6601 横浜支店 ☎045-820-2400

大阪営業所 ☎072-621-7722

福岡営業所 ☎092-622-5561

札幌営業所 ☎011-784-4000

仙台営業所 ☎022-259-2431

千葉営業所 ☎043-304-0411

名古屋営業所 ☎052-561-7712

神戸営業所 ☎078-671-0451

仙台営業所 ☎022-259-2431

千葉営業所 ☎043-304-0411

名古屋営業所 ☎052-561-7712

神戸営業所 ☎078-671-0451

福岡営業所 ☎092-622-5561

札幌営業所 ☎011-784-4000

仙台営業所 ☎022-259-2431

千葉営業所 ☎043-304-0411

仙台営業所 ☎022-388-8518

千葉営業所 ☎043-304-0411

名古屋営業所 ☎052-561-7712

神戸営業所 ☎078-671-0451

福岡営業所 ☎092-622-5561

札幌営業所 ☎011-784-4000

仙台営業所 ☎022-388-8518

千葉営業所 ☎043-304-0411

青森営業所 ☎017-762-3855

東京営業所 ☎03-3204-6602

静岡営業所 ☎054-284-1877

神戸営業所 ☎078-686-0520

長崎営業所 ☎095-887-0871

盛岡営業所 ☎019-654-8380

東京営業所 ☎03-3204-6603

浜松営業所 ☎053-462-7021

郡山営業所 ☎024-962-7673

千葉営業所 ☎043-304-0411

三河営業所 ☎0564-28-1614

岡山営業所 ☎086-242-5520

鹿児島営業所 ☎099-284-5321

秋田出張所 ☎018-983-0230

千葉営業所 ☎043-304-0413

北陸営業所 ☎076-266-1041

新潟営業所 ☎025-285-6551

埼玉営業所 ☎048-686-2391

名古屋営業所 ☎052-561-7712

広島営業所 ☎082-943-5053

沖縄営業所 ☎098-862-5041

群馬営業所 ☎027-280-5390

埼玉営業所 ☎048-686-1586

北陸営業所 ☎076-266-1041

山口営業所 ☎083-924-7575

長野営業所 ☎026-239-6210

城東営業所 ☎03-3877-7770

岐阜営業所 ☎058-273-1981

松山営業所 ☎089-958-3780

松本営業所 ☎0263-24-2677

三多摩営業所 ☎042-564-5806

三重営業所 ☎059-254-3777

北九州営業所 ☎093-621-8505

大利機工場・埼玉工場・神奈川工場・名古屋工場・大阪工場・兵庫工場・九州工場

このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。

[製作年月:2022年2月] (220210.Y-6)